【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【公開番号】特開2004-8324(P2004-8324A)
【公開日】平成16年1月15日(2004.1.15)
【年通号数】公開・登録公報2004-002
【出願番号】特願2002-163010(P2002-163010)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　13/49　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/15　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　5/44　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/65　(2006.01)
Ｄ０１Ｆ　6/70　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　13/472　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４１Ｂ　13/02　Ｔ
Ａ６１Ｆ　5/44　Ｈ
Ｃ０８Ｇ　18/65　Ｂ
Ｄ０１Ｆ　6/70　Ｚ
Ａ６１Ｆ　13/18　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年11月25日(2005.11.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】　ポリマージオール、ジイソシアネート化合物及びジアミン化合物から重合されるポリウレタンウレアからなる弾性繊維が伸縮性付与部材として用いられてなるサニタリー用品であって、ポリマージオールが、テトラヒドロフランとエチレンオキサイド及び／又はプロピレンオキサイドをランダム共重合して得られるポリエーテルジオールであることを特徴とするサニタリー用品。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２】　ポリウレタンウレア弾性繊維を伸縮性付与部材として使用した伸縮性シートが用いられてなることを特徴とする請求項１に記載のサニタリー用品。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
　すなわち、ポリマージオール、ジイソシアネート化合物及びジアミン化合物から重合されるポリウレタンウレアからなる弾性繊維が伸縮性付与部材として用いられてなるサニタリー用品であって、ポリマージオールが、テトラヒドロフランとエチレンオキサイド及び

／又はプロピレンオキサイドをランダム共重合して得られるポリエーテルジオールであることを特徴とするサニタリー用品である。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
さらに述べるならば、本発明は、主構成成分が特定のポリマージオール、ジイソシアネートおよびジアミンであるポリウレタンウレアであって、該ポリマージオールがテトラヒドロフランとエチレンオキサイドおよび／またはプロピレンオキサイドとのランダム共重合体を含有する特定のポリウレタンウレアからなる弾性繊維（以下、単にポリウレタン弾性繊維と略記する）を用いたサニタリー用品である。
上記ポリウレタンウレアは、次の一般式（１）で表すことができる。
－｛（Ｕｔ－Ｐ－Ｕｔ－Ｒ１）$_{n1}$－（Ｕａ－Ｒ２－Ｕａ－Ｒ３）$_{n2}$｝$_{n}$－　　……（１）
（式中のＰは、テトラヒドロフランとエチレンオキサイドおよび／またはプロピレンオキサイドをランダム共重合して得られるポリエーテルジオールの残基、Ｒ１およびＲ３はジイソシアネートの残基、Ｒ２はジアミンの残基、Ｕｔはウレタン結合、Ｕａはウレア結合を示す。ｎ１、ｎ２、ｎはそれぞれの繰り返し単位数を示す。）
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
本発明のサニタリー用品において用いられるポリウレタン繊維は、主構成成分がポリマージオール、ジイソシアネートおよびジアミンであるポリウレタンウレアからなる。以下、ポリマージオールをポリオールと略記する。